

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ及び新型転換炉原型炉ふげんの原子力事業者防災業務計画修正について

2. 日 時：令和6年1月11日 9:30～10:10

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

蔦澤専門職、武長専門職

監視情報課

竹田地方調整専門官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 安全・品質保証室 安全・品質保証グループ
リーダー、他6名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、高速増殖原型炉もんじゅ（以下「もんじゅ」という。）及び新型転換炉原型炉ふげん（以下「ふげん」という。）の原子力事業者防災業務計画の修正について、資料1～資料5に基づき、以下の修正内容に関する説明があった。

- ・ EALの見直し（もんじゅ）
- ・ 電源機能喪失時対応資機材の一部削除（もんじゅ）
- ・ ERSS伝送項目の見直し（もんじゅ）
- ・ 原子力防災組織の見直し（もんじゅ、ふげん）
- ・ 地域防災計画との整合（もんじゅ、ふげん）
- ・ その他記載の適正化など（もんじゅ、ふげん）

それに対して、原子力規制庁から、EALの見直しは冷却告示の内容に該当することからしかるべき手続きを要すること、及び一部削除しようとしている電源機能喪失時対応資機材は廃止措置計画において安全機能を期待されていないのか確認するよう伝えた。

日本原子力研究開発機構から、今回の指摘を踏まえて対応するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

- 資料1 令和5年度高速増殖原型炉もんじゅ原子力事業者防災業務計画
修正概要（案）
- 資料2 令和5年度新型転換炉原型炉ふげん原子力事業者防災業務計画
修正概要（案）